

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 6号)

2022年12月 5日発行
 兵庫のに研究所

西播地先漁場において、小型珪藻のキートセロスがわずかに確認されています。その他の海域では、栄養塩を消費する珪藻類はほぼ確認されませんでした。窒素は、東播漁場地先で概ね6~9 $\mu\text{g at/L}$ 台、陸水等の影響が見られる地点を除き、沖筋で概ね5 $\mu\text{g at/L}$ 台、西播地先漁場で概ね3~4 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均17.7 $^{\circ}\text{C}$ 。平年比2.0 $^{\circ}\text{C}$ 、昨年比1.3 $^{\circ}\text{C}$ ともに高い。(塩分) 平均32.41psu。前回(32.28)より0.13psu高い。
 (珪藻、栄養塩) 西播地先では、キートセロスが依然確認されており、発生量は前回(11/25)調査よりやや増加していた。明石海峡部の海水の影響が見られる林崎漁場では、大型珪藻のコシノディスカスがごくわずかに確認され、発生量は前回調査より大きく減少していた。その他の海域では、珪藻類はほぼ確認されない。
 二見漁場西沖と伊保漁場地先では、陸水等の影響によりアンモニア態窒素の値が特異的に高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	18.8	17.7	15.7	16.4
窒素	5.5	7.2	5.4	3.8
リン	0.66	0.68	0.56	0.55

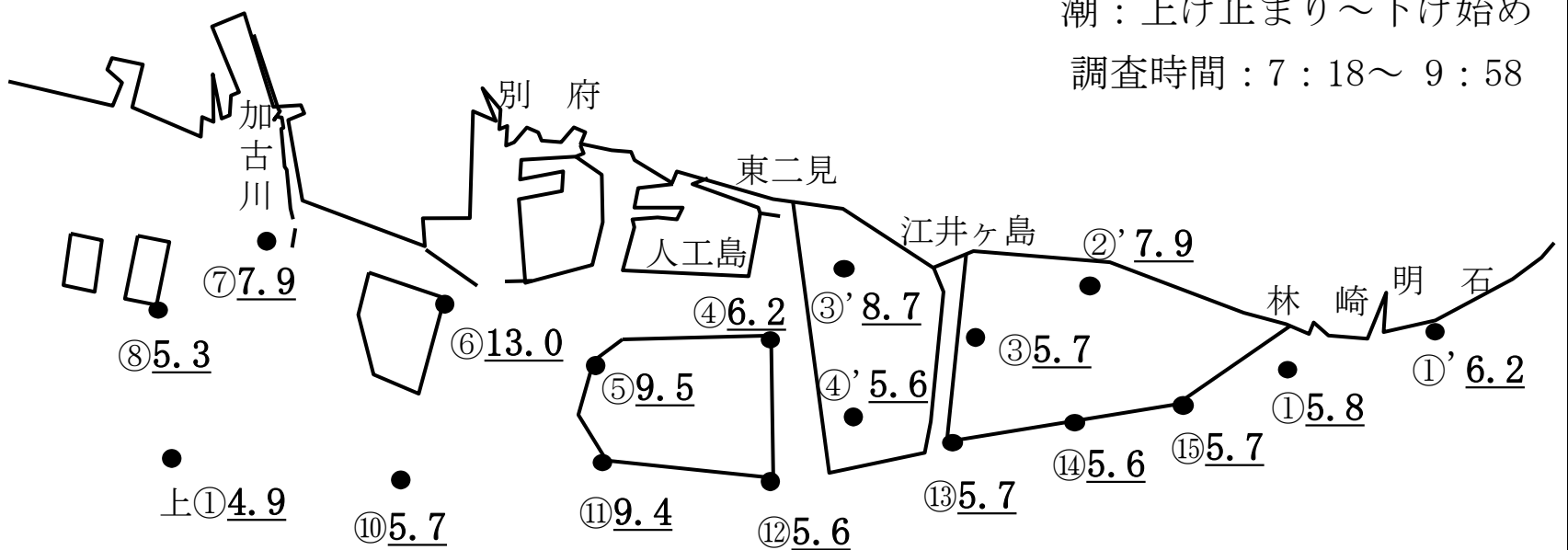
(11/25) (12/3)

西播地先					
伊保地	水温	17.1 $^{\circ}\text{C}$	伊保沖	水温	17.0 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	8.6		窒素	4.9
	リン	0.80		リン	0.65
白浜地	水温	17.2 $^{\circ}\text{C}$	白浜沖	水温	17.2 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	4.4		窒素	3.3
	リン	0.62		リン	0.55

2022年12月 5日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：上げ止まり~下げ始め
 調査時間：7:18~9:58



水温図

